

身近に頼れる人がいなくても
安心して暮らせる社会を
つくるプロジェクト

社会福祉法人
文京区社会福祉協議会
地域連携ステーション(ファミコム)
根本 浩典

①きっかけ

②プロジェクトの内容

なぜはじめようと思ったのか

あるAさんに起こっている出来事から

私たちはプロジェクトの必要性を感じました。

Aさんってどんな人

数年前に、奥様、お母様を亡くしています。

お子さんはいません。

地域活動のはじまりは、奥様がされてきた「みまもりサポーター」というものを引き継いだのがきっかけでした。

責任感の強い、真面目なマメな方。

おひとりさま高齢者のニーズ

急な入退院、
施設への入所に必要な…

認知症になっても必要な…
家賃や光熱費の支払い

死後の手続き…
骨はひとりで歩いていけない

保証機能

財産管理

葬儀や納骨
家財処分

生前

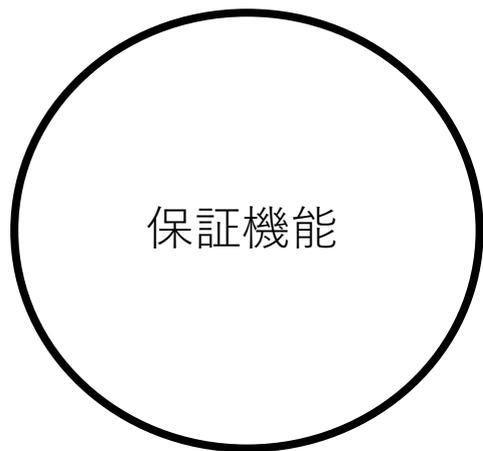
死後

皆さん不安を抱えていらっしゃる・・・

課題

なぜこのプロジェクトが
必要なのか

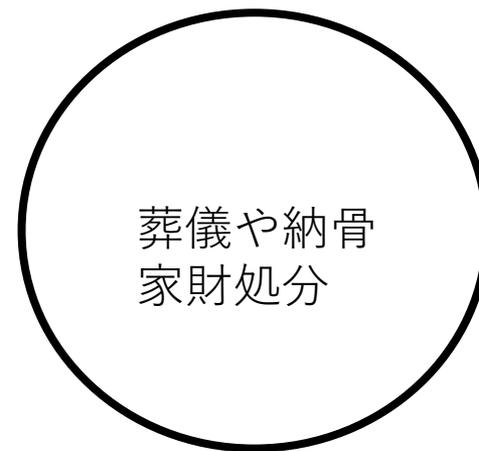
急な入退院、
施設への入所に必要な…



認知症になっても必要…
家賃や光熱費の支払い



死後の手続き…
骨はひとりで歩いていけない



おひとりさま高齢者の状況

三世代同居の減少、そして単身高齢者の増加

終活・・・人生の最期に向けて準備をしてくれる、

最期を託せる、相談できる家族などが近くにいないケースが増えている

〈例〉

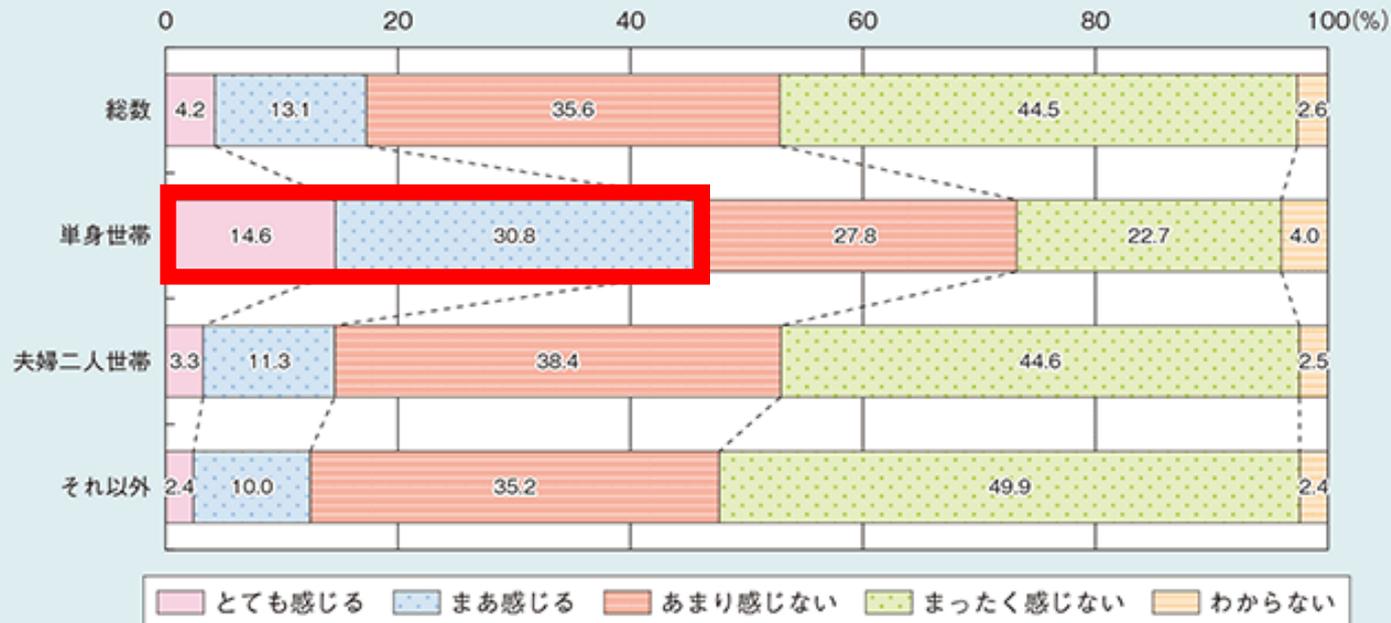
子どもがいない

離れている

頼りたくない

おひとりさま高齢者の状況

孤独死を身近な問題と感じるものの割合（60歳以上の男女）



資料：内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」（平成24年）

（注）対象は、全国60歳以上の男女

*本調査における「孤独死」の定義は「誰にも看取られることなく亡くなったあとに発見される死」

おひとりさま高齢者の状況(2)

2025年問題 (団塊の世代の方が75歳を迎える年)

3人に1人

65歳以上

5人に1人

75歳以上

10に1人

認知症を患っている

(国際医療福祉大学教授の高橋泰氏)

対象になる方

- ①文京区内に住む、原則として70歳以上の方
- ②明確な契約能力を有する方
- ③子がない方、または遠方等でサポートを受けられない方
- ④生活保護を受給されていない方

具体的内容

急な入退院、
施設への入所に必要な…

認知症になっても必要…
家賃や光熱費の支払い

死後の手続き…
骨はひとりで歩いていけない

保証機能

財産管理

葬儀や納骨
家財処分

生前

死後

多様な他機関との連携

急な入退院、
施設への入所に必要な…

認知症になっても必要…
家賃や光熱費の支払い

死後の手続き…
骨はひとりで歩いていけ
ない

保証機能

財産管理

葬儀や納骨
家財処分

弁護士・司法書士

東京福祉会

ポイント：多様な主体の強みを活かし、役割分担

特に住宅関連の課題をピックアップすると

転居が想定されるケース

- 身体能力が弱まり、低層階に移りたい
- 建物の老朽化等による建て替え
- 要介護状態になったなど

想定される課題

- 保証人・緊急連絡先がない
- 保証会社も審査が厳しい
- 収入・資産が潤沢でなく、保険料の負担が困難

貸主の不安

- ・ 家賃の不払いなどに対する不安
- ・ 住居の使用方法に対する不安
- ・ 居室内での死亡事故発生そのものへの漠然とした不安
- ・ 死亡事故に伴う原状回復や残置物処分等の費用への不安
- ・ 死亡事故後に空室期間が続くことに伴う家賃収入の減少への不安
- ・ 他の入居者との協調性に対する不安
- ・ 高齢化対応などのハード・ソフトの対応が整っていない

不安の解消をしたい!

- 安心してもらえらるるよう
信用性の担保
- 高齢者でも自分の住みたい家
に住める環境づくり